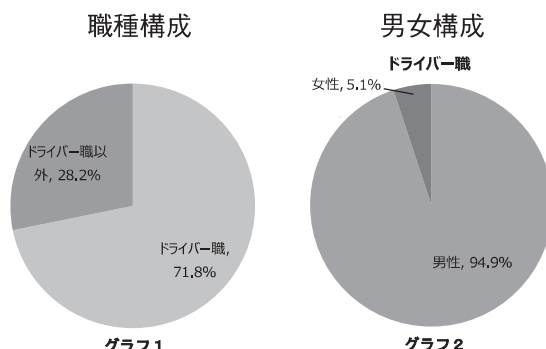


# 神奈川県内トラック運送事業の働き方改革に関する実態調査について

本年9月に実施した標記実態調査の報告書が出来上がりましたので下記に調査結果の要旨を掲載いたします。  
 前回調査より上昇↑ 下降↓

- 保有車両台数⇒全体の約6割が20両以下の事業者
- 主な業態⇒一般貨物運送業（71.5%）、食品（15.7%）  
海上コンテナ（10.0%）、※複数回答
- 人員構成⇒ドライバー職：ドライバー職以外=7：3  
（グラフ1）  
ドライバーの女性比率は5.1%↑（前回3.3%）（グラフ2）
- 情報収集方法⇒働き方改革に関連する情報…神ト協のトラック時報やHP（81.2%）↓（前回81.7%）



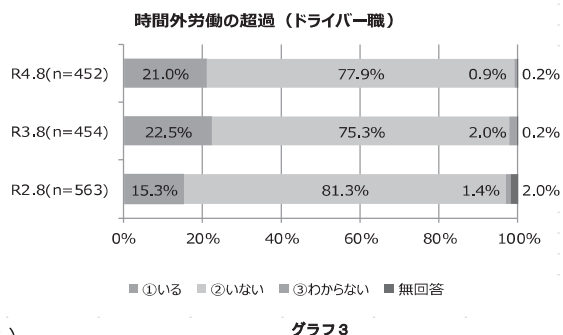
- 年休5日以上取得状況（年次有給休暇の日数が10日以上となる労働者について）  
 ドライバー職⇒全員取得出来ている（77.7%）↑（前回72.5%）、5日取得できていない人がいる（20.1%）↓（前回26.4%）  
 ドライバー職以外⇒全員取得できている（77.9%）↑（前回76.4%）、5日取得できていない人がいる（17.5%）↓（前回18.7%）  
 有給休暇義務化について、67.0%以上の事業者で就業規則の変更・届出済、及び管理簿を作成済

時間外労働の状況（法定休日を含まない）⇒ドライバー職⇒年960時間超の時間外労働が発生してない（77.9%）↑（前回75.3%）、発生している（21.0%）↓（前回22.5%）（グラフ3）  
 その内、7割が適用される令和6年4月1日までは守れる見込み

※取り組むべき課題は、ドライバーの増員、社内での配車等の工夫などが上位に  
 ※ドライバー職の労働時間の把握や管理方法は、日報やタコグラフ、点呼記録簿が主（複数回答）  
 ドライバー職以外⇒年720時間超の時間外労働が発生してない（91.2%）↓（前回91.9%）  
 発生している（8.0%）↑（前回6.8%） その内、33.3%が今年度中には守れる見込み

- 時間外割増賃金率への準備  
 既に割増賃金50%を適用している（7.5%）↑（前回6.2%）、対応できるよう対策を検討している（68.8%）↑（前回47.8%）  
 対策等の準備は行ってない（17.0%）↓（前回23.6%）、割増賃金率の引き上げについて知らなかった（3.1%）↑（前回2.9%）

【ドライバー職】  
 現在、時間外労働が年960時間を超えている人はいるか



- 同一労働同一賃金⇒正社員と非正規社員間の不合理な待遇の違いについて 違いは生じてない（83.8%）↑（前回79.7%）生じている（1.8%）↓（前回3.1%）
- ホワイト物流推進運動⇒自社が参加している（14.6%）、参加してない（52.2%）、ホワイト物流を知らない（28.5%）
- 働き方改革を進めるうえでの課題や障害  
 荷待ち時間（56.6%）↑（前回54.0%）、人手不足（52.9%）↑（前回43.7%）、荷主との運送取引条件の改善（44.7%）↑（前回38.7%） ※複数回答
- 働き方改革を進めるうえでトラック協会に望む支援策  
 関連情報の提供（52.9%）↑（前回50.0%）、改善基準告示見直しに関する対応策（20.6%）、荷主・社会全体への周知徹底・PR（65.7%）↓（前回70.0%） ※複数回答